

第10期（令和6年4月～令和7年3月）



まつもと子ども未来委員会 活動報告集



松本市

目次

I	はじめに	1
II	第10期まつもと子ども未来委員会実施要項	2
III	第10期まつもと子ども未来委員会委員	3
IV	委員会開催状況	4
V	委員会活動	
	第1回委員会	5
	第2回委員会	6
	第3回委員会	7
	第4回委員会	8
	第5回委員会	9
	市内見学	10
	第6回委員会	13
	第7回委員会	14
	第8回委員会	15
	第9回委員会	16
	第10回委員会	17
	市への提言	18
	第11回委員会	22
	第12回委員会	24
	第13回委員会	26
	第14回委員会	28
VII	資料	
	1 市への提言	30
	2 未来委員アンケート	57
	3 保護者アンケート	59

I はじめに

○ 松本市子どもの権利に関する条例 前文（一部抜粋）

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができるとまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

松本市子どもの権利に関する条例が施行されてから11年が経過しました。多くの自治体が少子化対策として「子育て支援」に取り組む中、本市では、条例に基づき、子ども自身の育ちに関わる「子ども支援」にも力を入れて取り組んでいます。

その取り組みの一つが、まつもと子ども未来委員会です。未来委員会は、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動を通して自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考えます。このような取り組みは、子どもたちが自らの意見を表明し、それを受け止めてもらえること、相手の意見に耳を傾け、受け止められるようになることで、自己肯定感を育むことや、子ども自身の育ちにもつながると考えています。

第10期のまつもと子ども未来委員会は、「さらに住みやすい松本を目指そう」というテーマのもと①交通、②商業からの子どもの居場所、③井戸・湧き水、④自習室の5つのテーマについて、市への提言を行いました。その提言の一つ「自習室・交流スペース」は市のホームページに掲載されました。アクセス数はなんと10,000件を超えました！これは、皆さんの声がたくさんの人に届いたこ証です。本当に素晴らしいことです。

今期も市内の大学に通う学生にサポーターとして参加いただいたことで、子どもの意見表明が活発となり、未来委員会の活動がより充実しました。サポーターの皆さん、ありがとうございました。

子どもの権利に関する取り組みは、なかなか他の自治体に広がらない現状があります。未来委員会のように、子どもたちが本来持っている力を発揮して成長していく場が広がっていくこと、そのような場で活躍する子どもたちの力に大人が気付くことを通して、子どもの権利に関する取り組みが、県内外に更に広がっていくことを期待しています。

Ⅱ 第10期まつもと子ども未来委員会実施要項

1 趣旨

子どもの意見表明や参加の促進を図り、子どもにやさしいまちづくりを一層進めるため、まつもと子ども未来委員会を開催するもの

2 内容

子どもたちが、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考える。

3 対象

松本市内在住、在学または市内で活動をしている小学5年生から高校3年生までの子ども（就労者、予備校生等を含む）

4 活動期間

令和6年4月～令和7年3月

5 主な事業

- (1) 委員会
- (2) 施設見学
- (3) 市への提言
- (4) 委員の興味・関心のある事業への参加、実施

6 参加者募集方法

- (1) 市内の小、中、高校へ募集チラシを配布
- (2) 市公式ホームページ、SNS、広報まつもと3月号に掲載

7 参加者募集期限

4月9日（日）まで

8 その他

- (1) 市内の大学、短期大学の学生を対象にサポーターを募集
- (2) 委員が自発的に活動できるよう、高校生の委員及びサポーターによる運営会を必要に応じて開催し、委員会の方向性等について協議

Ⅲ 第10期まつもと子ども未来委員会委員

1 総数 43人

2 内訳

学年		学校（人数）
小学生 11人	5年生 5人	才教学園小学校(1)、筑摩小学校(1)、寿小学校(1)鎌田小学校(1) 清水小学校(1)
	6年生 6人	清水小学校(1)、田川小学校(2)、芝沢小学校(1)、島立小学校(1) 旭町小学校(1)
中学生 16人	1年生 8人	旭町中学校(1)、鎌田中学校(3)、筑摩野中学校(1)高綱中学校(1) 信州大学附属松本中学校(1)、山辺中学校(1)
	2年生 5人	清水中学校(1)、菅野中学校(1)、丸ノ内中学校(1)、 筑摩野中学校(1)、松島中学校(1)、
	3年生 3人	松島中学校(1)、鎌田中学校(1)、開成中学校(1)
高校生 16人	1年生 4人	松本美須々ヶ丘高校(1)、松本蟻ヶ崎高校(1)、 松本縣ヶ丘高校(1)、松商学園高校(1)
	2年生 2人	エクセラン高校(1)、松本美須々ヶ丘高校(1)
	3年生 10人	松本深志高校(1)、松本蟻ヶ崎高校(2)、松本美須々ヶ丘高校(3) 松本国際高校(1)、松本工業高校(1)、松商学園高校(1) エクセラン高校(1)

3 名簿

(50音順、◎委員長 ○副委員長)

属性	氏名
小学生	今井 帆夏、岩垂 修也、篠田 光俐、篠田 優羽、鈴木 咲良、西原 大雄、 西山 碧、野澤 伊織、水林 祐人、○盛田 咲太郎、○渡邊 ほのか
中学生	荒井 結人、入山 咲慧、大沢 朱夏、大澤 悠、黒崎 遥、小谷 優真、 塩尻 恵子、鈴木 咲歩、高田 麻耶、手塚 航、橋本 和親、平形 藤子、 藤崎 晋一郎、堀 大希、○山田 明文、若林 優佳
高校生	青山 飛真、阿部 康介、伊藤 綾音、沖本 悠真、柏原 槇、須澤 千咲、 高山 正太、滝川 未央、○滝澤 智貴、◎田中 洸介、藤岡 絢香、 藤岡 香月、横川 詩、横山 加奈、若林 凜、和田 裕也

IV 委員会開催状況

回	日時	場所	内容
1	4月21日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・オリエンテーション ・正副委員長の選出
2	5月19日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・第10期委員会スローガンの決定 ・活動内容の検討
3	6月9日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・活動テーマ、グループの決定
4	6月30日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・活動テーマに関する学習、話し合い
5	7月21日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・活動テーマに関する学習、話し合い
	8月1日(木)	松本城・市立博物館 市立博物館会議室	・市内見学
6	8月25日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・市内見学の振り返り ・活動テーマに関する学習、話し合い
7	9月8日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・活動テーマに関する学習、話し合い ・市への提言資料の作成
8	10月6日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・市への提言資料の作成
9	10月27日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・市への提言資料の作成
10	11月10日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・市への提言のリハーサル
	11月17日(日) 12:00~16:00	勤労者福祉センター 大会議室	「松本子どもの権利の日」市民フォーラム
11	12月15日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・市への提言の振り返り ・今後の活動について
12	1月19日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・次期委員会について ・子ども計画について
13	2月16日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・市の総合計画ワークショップ ・お楽しみ会企画
14	3月9日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・修了式・お楽しみ

V 委員会活動



(第10期) 第1回まつもと子ども未来委員会の報告

4月21日(日)にあがたの森文化会館で第1回まつもと子ども未来委員会を行いました。

今年度は、46人(小学生11人、中学生16人、高校生19人)が未来委員会に応募してくれて、38人の委員が出席しました。

1 自己紹介

家で記入してきてもらった自己紹介シートを参考にしながら、一人ずつ自己紹介をしました。

自己紹介では、好きなことについて話をする委員が多く、みんな興味を持って話を聞いていました。これから1年間楽しく活動していきましょう。よろしくお願いします！



2 まつもと子ども未来委員会について、子どもの権利について

事務局から未来委員会の目的や内容、取り組むことの予定などを説明しました。

また、子どもの権利についても説明しました。「権利」は難しい言葉ですが、「ワニブタ絵本ガイドブック」には分かりやすく書かれています。今後、少しずつ理解を深めていきましょう。

3 正副委員長の選出

委員長1人、副委員長4人を話し合って決めました。

委員長	たなか	こうすけ	さん
	田中	洸介	
副委員長	たきざわ	ともき	さん
	滝澤	智貴	
	やまだ	あきふみ	さん
	山田	明文	
	もりた	さくたろう	さん
	盛田	咲太郎	
	わたなべ	ほのか	さん
	渡邊	ほのか	



初めての委員会で緊張している委員もいたけど、会が終わるころには、話せる人も増えていてよい交流ができていた。次回はより委員同士で会話が弾むように頑張りたい。

4 未来委員会でやりたいこと

今年度やりたいことを自由に話しました。やりたいことを言葉にし、またほかの人の話を聞いて楽しい時間を過ごしました。



次回から、正副委員長が司会進行をします。みんなで協力して楽しい委員会にしましょう。



(第10期) 第2回まつもと子ども未来委員会の報告

5月19日(日)にあがたの森文化会館 2-8 会議室で第2回まつもと子ども未来委員会を行いました。この日は38人の委員が出席しました。また、大学生サポーターが今回の委員会から参加してくれました。

1 大学生サポーター

市内の大学、短期大学へ未来委員会のサポーターの選出をお願いしたところ、信州大学から学生3人の紹介があり、この日は全員が出席してくれました。

今年度のサポーターは全員県外の出身です。松本のまちを考えると、ほかのまちはどんな様子なのかを知ることは大切です。たくさんお話しをしましょう！

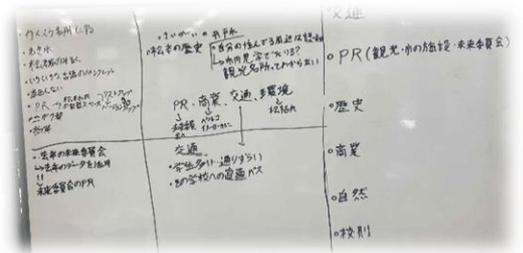
1年間お世話になります。よろしくお願いします。

2 委員会活動に関する話し合い

今期の未来委員会でどんなことに取り組んでいきたいか、テーマについて自分の気持ちを出し合い、話し合いをしました。

「松本のことについて」知ってること、好きなところ、興味があるところ、困っていること、やってみたいことについてグループごと具体的に意見を出し合いました。

今年度の活動していきたいテーマは「交通」、「PR(観光、市の施設、未来委員会)」、「歴史」、「商業」、「自然」、「校則」6つのカテゴリーにまとまりました。



3 第10期委員会のスローガン

今期の委員会のスローガンをみんなで話し合いました。

はじめにグループに分かれて、それぞれの思いを出し合い、候補こうほを決めました。スローガンは、漠然ぼくぜんとしていて、難しく、なかなか決まりませんでした。みんなの思いを詰め合わせて「さらに住みやすい松本を目指そう」に決めました。

年齢に関係なく話し合える、松本のいいところを発信する、自然を大切にしたいという思いが詰まっています。

次回の委員会では、自分たちこうしていきたいという思いを仲間に伝えながら具体的な内容について話し合いを進めていきましょう。





(第10期) 第3回まつもと子ども未来委員会の報告

6月9日(日)にあがたの森文化会館で第3回まつもと子ども未来委員会を行いました。今回から高校生が2人増え、委員が47人となり、この日は29人の委員が出席しました。また、大学生サポーター1人が参加しました。

1 活動テーマについて

前回の委員会で決まった、「PR」、「自然」、「歴史」、「交通」、「商業」の5つのグループに分かれ、具体的にどのようなことに取り組んでいくのか、意見を出し合いました。

話し合いの結果、次の内容について取り組みを進めていくことになりました。

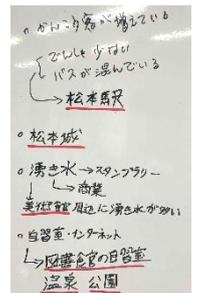


グループ	内容
PR	インターネットを使ったPR、観光客に直接話をして松本のPRをする等
自然	湧き水に関して(飲料水、料理を作る、井戸水のスタンプラリー、井戸水を使っている飲食店のクーポン等)
歴史	松本城、開智学校の歴史について学んでPRしてみたい
交通	車がない人の移動手段、バスや電車の本数、自転車を止める場所、歩道が狭い、レンタル自転車の利用方法、バスの電子決済
商業	いろんな店の閉店、遊び場所が消える、遊び場所が欲しい

2 市内見学について

8月1日(木)に予定している市内見学の場所について、グループごと意見を出しあい、それぞれのグループから行ってみたい場所を発表しました。

見学場所については、具体的に、見学をして何をしたいか、何を学びたいのかを考え、次回委員会で決定します。



グループ	場所・施設	内容
PR	図書館自習室、温泉、公園	
自然	美術館周辺の湧き水	商業に絡めて考えられるか
歴史	松本城	歴史について詳しく話を聞きたい
交通	松本駅	観光客が増えている 電車が少なくバスが混んでいる
商業	現時点では行きたい場所はない	



(第10期) 第4回まつもと子ども未来委員会の報告

6月30日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は29人の委員が出席しました。また、大学生サポーター3人が参加しました。

1 活動テーマに関する話し合い

市への^{ていげん}提言に向けて、調べる内容や^{かだい}課題等について話し合いを進めました。

グループ	調べる内容	課題
自然 湧き水	井戸水の味、場所、魅力について、湧き水を料理等に使えるか	(検討中)
商業	空き家利用で子どもの居場所が欲しい。開智学校周辺が気になる。	いろいろなお店が閉店している 遊び場がほしい
歴史 松本城	松本城の歴史、松本城の ^{みりやく} 魅力 他のお城とは違う点について	(検討中)
交通	人がいっぱいいるのになぜ便が増えないか	道が狭い、バスの ^{こんごう} 混雑
PR	自習室の ^{かいぜん} 改善、情報発信	(検討中)

2 アイスブレイク

「じゃんけん自己紹介」はとても楽しかったです。じゃんけんですべて勝ったら自己紹介をするルールで、参加者同士が笑顔で交流することができました。勝っても負けても、自然と笑顔があふれていました。

3 市内見学について

それぞれのテーマについて、調査する内容や^{かだい}課題を具体的にし、市内見学で質問したい点や観察したことについて話し合いました。個々の意見を^{かせん}付箋や^{しりょう}資料にまとめることで、具体的なアイデアが浮かび上がりました。

話し合いの中で、担当課に質問したいとの意見も多くありましたので、市内見学の際には直接担当課に話を聞いたり、質問をする予定です。

グループ	見学場所・活動内容
自然	湧き水めぐり
商業	タカノバの方に話を聞きたい
歴史	松本城について話を聞きたい、博物館
交通	公共交通課に話を聞く
PR	松本城、博物館、自習室





(第10期) 第5回まつもと子ども未来委員会の報告

7月21日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、32人の委員と大学生サポーター3人が参加しました。

1 アイสบレイク

気分をリフレッシュするために、じゃんけん列車をしました。2回楽しみましたが、どちらも小学生が優勝しました。短い時間でしたが、年齢を超えた交流が自然に生まれ、声も出て楽しむことができました。心もほぐれ、その後の話し合いも集中できました。

2 市内見学について

今年度は市内の施設見学よりも関係者から直接話を聞きたいという希望が多かったため、次回の市内見学では実際に担当の方々にお話を伺うことになりました。直接担当の方々に質問できる機会ということで、事前に質問を考えました。興味のある点や知りたいこと、また感じている課題を共有し、話し合いを進めました。



テーマ	興味を持った理由	調べる内容
P R 自習室 インスタ	普段自習室を利用しているから	具体的にどのように使っているか サービス内容について
	SNSで発信できる松本の魅力とは	ネットモラル 海外×SNS
商業「空き家を使って駄菓子屋を作ろう」	子どもの居場所がない イオンに店が集中している。 子どもの遊び場が減っている。	空き家の有効活用について リノベーションについて
交通	交通についていろいろ考えた い！！	危険な場所 バスの停留所について バスやタクシーの対策
歴史「松本城」	国宝に認定されたお城だから	歴史、豆知識、現在のこと、戦、特徴について知りたい。
自然「湧き水・井戸水」	そこに美しい自然があったから	どんな井戸があるか、いくつあるのか、井戸水の特徴、味、各井戸の人通りの多さ、湧き水を使用している店



(第10期) まつもと子ども未来委員会市内見学の報告

8月1日(木)に、提言のテーマに関する施設等の見学をし、その後、担当課に話を聞きました。この日は、31人の委員が参加しました。

1 市内見学のスケジュール

9:15	松本市立博物館
9:25 ~ 10:00	歩いて見学(2コース) (1) 松本神社前井戸→タカノバ前→北馬場 柳の井戸 →葵の井戸→松本城公園 (2) 西総掘土塁公園 <small>にしそうぼりどるい</small> →松本城公園
10:00 ~ 10:30	黒門・太鼓門について ててまがりの井戸 <small>すみやぐら</small> (南隅 櫓)(旧市立博物館南東)
10:50 ~ 11:40	松本城の歴史やお城の 特徴 <small>とくちよう</small> について 松本城研究専門員 小山さん
13:15 ~ 14:20	博物館見学 企画展～生物多様性と松本～→常設展
14:30 ~ 15:30	関係課の方に話を聞く 商業: タカノバ関係者、お城まちなみ創造本部 <small>そうぞう</small> 、地域づくり課 交通: 交通ネットワーク課、公共交通課、自転車推進課

2 歩いて見学

- (1) 松本神社前井戸→タカノバ前→北馬場 やなぎ 柳の井戸→あおい 葵の井戸→松本城公園

街中にある井戸の場所を確認するため、博物館から行くことができる井戸に行きました。各井戸で実際に手を濡らし、水を飲んで味を確認しました。「冷たいね」と感じながら、井戸の水の感触を確かめました。

松本城から開智学校へ向かう道沿いにある松本国宝の架け橋プロジェクト「タカノバ」を見てきました。新しいお店がオープンして、まちが戻ってきている場所です。お店が開いている時間ではなかったので、お店の中を覗いたり、木で作られた手作りの机やイスに触れたりしてきました。

- (2) にしそうぼりどるい 西総掘土塁公園→松本城公園

江戸時代には、三の丸の周囲を土塁がぐるりと取り囲んでいました。現在、土塁の跡が残っているのは、西堀、きたばば 北馬場、おおやなぎまち 大柳町(総堀の土塁)、かたはまち 片端町、そして東町すて(捨堀の土塁)の一部だけです。発掘当時の様子や土塁の詳細についてはパネルで説明されており、みんなでそれを読みながら学びました。



3 黒門・太鼓門^{たいこもん}について ててまがりの井戸



黒門・太鼓門^{たいこもん}では、実際の門を見ながら松本城研究専門員の小山さんから説明を聞きました。小山さんは「昔、松本城に来たときは太鼓門から入っていた」、「一番大きな石を太鼓門に使用している」、「今歩いている場所は昔はお堀だった」といった具体的な説明をしてくれました。

また、旧市立博物館内にある「ててまがりの井戸」^{のぞ}を覗き見ることができました（「ててまがり」はカタツムリの意味です）。カタツムリの殻^{から}のように渦巻^{うずま}き状^{じょう}に下^{みずく}っていくと水汲み口が現れることから、この井戸にはこの名前が付けられています。昔、松本城の本丸と二の丸には本丸、二の丸、古山^{こさん}地の三つの御殿が建てられており、そのうちの古山地御殿^{こさんじごてん}の井戸です。廃城^{はいじょう}後に取り壊^{こわ}されましたが、明治17年（1884年）には松本中学校（現在の深志高校）が建てられ、その時代にも現役の井戸として使用されていたそうです。



4 松本城の歴史やお城^{とくちょう}の特徴^{とくちょう}について

博物館講堂に戻り、引き続き松本城研究専門員の小山さんから「松本城^{みりょく}の魅力^{こうぎ}」についての講義を受けました。小山さんは、松本城が日本最古^{さいこ}の五重六階^{ごじゅうろっかい}の城であることや、地形を巧みに活かしたお城であること、さらにその歴史について詳しく説明してくれました。約1時間にわたり、人気の高い松本城^{てんしゅ}天守^{みりょく}の魅力^{みりょく}についての話を聞きました。



5 博物館見学 企画展^{たよう}～生物多様性^{じょうせつてん}と松本～→常設展^{がくげいん}



博物館の企画展を学芸員さんの説明を聞きながら見学しました。企画展では、松本市^{せいそく}に生息する動物のはく製^{せい}や標本^{ひょうほん}、珍しい植物^{めず}の写真がたくさん展示されていて、子どもたちは、自分の興味があるものをじっくりと覗き込んでいました。

常設展の中で一番人気があったのは、「お城のあるまち」のジオラマです。このジオラマでは、松本城の立地や城下町の都市計画、城下町に住む武士や町人の暮らし、そして周辺の村とのつながりを見ることができます。場所を変えて観察したり、案内パネルを使って気になることを調べたり、^{そうがんきょう}双眼鏡^{さいぶ}で細部を見るなどして楽しんでいました。

6 関係課の方の聞く

(1) 商業について

松本城北側の松本国宝の^か架け橋プロジェクト「タカノバ」の代表である荒井さんと古田さん、さらにお城まちなみ創造本部や地域づくり課の方々が来て、話をしてくれました。

「タカノバ」やりノベーションした空き家を活用し、開智学校周辺の^{にぎ}賑わいが戻ってきていることに^{ちやくもく}着目し、今回お話を聞く機会を持ちました。

自分たちがもしお店を出すとしたらどのようにするか、どれくらいの費用がかかるのかといった具体的な質問をし、一つ一つ丁寧に回答していただきました。



「タカノバ」の方々の話を聞いて、「もしかしたらできるかもしれない」「やってみよう」「できたらすごいよね」という前向きな気持ちを感じることができました。特に「タカノバ」の方から「失敗してもいいんだよ。やってみたら」という言葉には、背中を押されたようです。

近いうちに何か実現できるかどうかを検討していく予定です。

(2) 交通について

前回の未来委員会で、子どもたちが質問したいことを考え、その質問を事前に交通部に伝えたところ、交通部の3つの課（交通ネットワーク課、公共交通課、自転車^{すいしん}推進課）の方々が来てくれました。バス、自転車、シェアサイクル、通学路についての質問に対して、具体的に現在の市の取り組みを交えて説明していただきました。

説明の中で気になることがあれば、その場で質問し、^{ていねい}丁寧に回答してもらいました。その結果、子どもたちが気にしていた点や、こうしてほしいと感じていたことについて、詳しく知ることができました。



忙しい中ご対応していただいた関係者の方々、本当にありがとうございました。



(第10期) 第6回まつもと子ども未来委員会の報告

8月25日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、26人の委員と大学生サポーター2人が参加しました。

1 市内見学振り返り

8月1日の市内見学で学んだことを振り返りました。実際に井戸を訪れたり、松本城について具体的な話を聞いたり、担当課や担当者の話を聞いたりすることで、多くのことを感じました。また、仲間との会話を通じて新たな気づきも得ることができました。



さらに、8月1日に参加できなかった仲間とも情報を共有することが出来ました。

2 活動テーマに関する話し合い

8月1日に行った市内見学で得た知識をもとに、活動テーマに関する話し合いを進めました。学んだことや感じたことを、自分たちがどのように表現していくかについて話し合いました。

	グループ	活動テーマに関する話し合い
PR	自習室	実際に利用しているときに感じる問題点(満席や利用者が高校生のみ)について、その解決策を考えることになりました。また、自習室として利用されている場所を把握し、その場所における高校生のメリットやデメリットについてまとめていきたい。
	インスタ	現在のインスタグラムには海外からの発信が少ないため、英語版のアカウントを作りたいという話が出てきました。
商業「空き家を使って駄菓子屋を作ろう」		子どもたちの居場所を作ることの大切さについて考えています。イベントでは、練り飴を作って子どもたちに楽しんでもらいたいと考えています。また、子どもたちが楽しんでいる様子を発表する予定です。
交通		「地下道」、「バス停での待機場所」、「狭い道を安全に通行するためには」の3点について考えていきたい。
歴史「松本城」		自分たちが学んだことを子どもの目線でまとめて発表したい。
自然「湧き水・井戸水」		井戸があまり知られておらず、若者の利用が少なく場所がわかりにくい井戸もあり周知していく方法を考えていきたい。 また、井戸の掃除を自分たちで行い、実際に経験を積むことも考えていきたい。



(第10期) 第7回まつもと子ども未来委員会の報告

9月8日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、25人の委員と大学生サポーター1人が参加しました。

1 「松本子どもの権利の日」市民フォーラムについて

市民フォーラムの流れについて話をしました。11月17日の市民フォーラムでは、今まとめていること、自分たちの考えについて市への^{ていげん}提言をします。各グループで協力して進めていけるように話をしました。

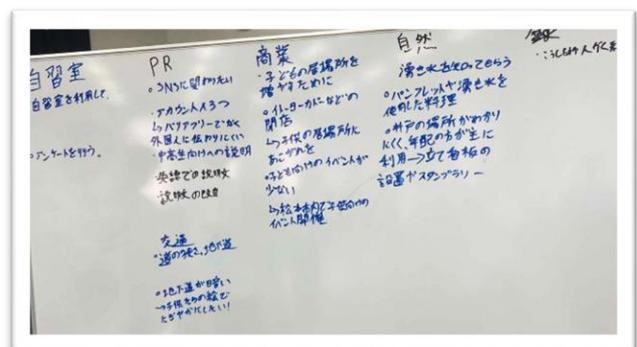
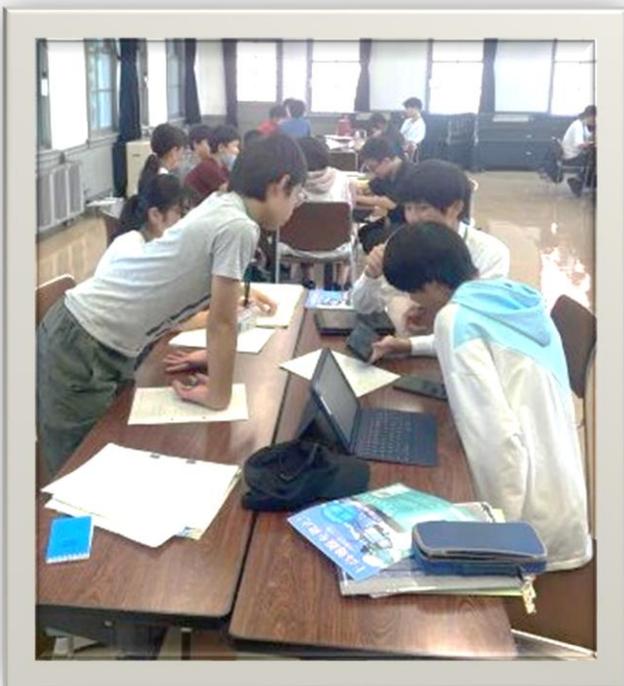
また、子どもたちが大会宣言の読み上げを行っています。今年は大会宣言の読み上げ(1人)が未来委員会の担当となります。立候補^{りっこうほ}を募り、次回の委員会で決定することになりました。

2 活動テーマに関する話し合い、市への^{ていげん}提言資料^{しりょう}の作成^{さくせい}

活動テーマのグループごとに市への^{ていげん}提言に向けて話し合いを行いました。今まで各グループで話をしてきたこと、聞いたり調べたことを振り返りながらまとめ始めました。

①テーマに興味を持った理由、②松本市の^{げんじょう}現状・取り組み、③松本市の^{かだい}課題、④市への^{ていげん}提言について、資料^{しりょう}の作成^{さくせい}にとりかかりました。

^{ていげん}提言資料^{しりょう}の完成までには、まだまだ時間がかかりそうな様子ですが、みんなで協力してまとめていきましょう。





(第10期) 第8回まつもと子ども未来委員会の報告

10月6日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。

この日は、22人の委員と大学生サポーター3人が参加しました。また、県外の大学生2名が見学に来てくれました。

1 「松本子どもの権利の日」市民フォーラムについて

市民フォーラムでは、毎年松本子ども未来委員会の代表者が大会宣言の読み上げを行っています。昨年の代表者小谷 優真君が大会宣言についての説明をしてくれました。その説明を受けて、沖本 悠真君が立候補してくれ、決定しました。

2 活動テーマに関する話し合い、市への提言資料の作成

活動テーマのグループごとに市への提言に向けて話し合いを行いました。

今まで学んできたことや、グループ内で出し合ったアイデア、さらには私たちが感じていることをもとに、松本市がこんな風だったらいいなという思いをまとめています。11月17日にはその提言やこれまでの学びを発表する予定です。

今年度は高校生が中心となり、小・中学生の意見を取りまとめながら、話を進めてきました。データを作成する際も、小・中学生の意見を丁寧に聞き入れ、意見を大切にしながら進めています。



発表するときどんな資料を使うのか、どんな時間配分でだれが発表をするのか、聞いてもらうための工夫についても話をしました。



提言資料の完成にはまだ時間がかかりそうですが、みんなで力を合わせてより良い内容に仕上げていきましょう。お互いの意見を尊重しながら、最終的な発表に向けてしっかりと準備を進めていきましょう。



(第10期) 第9回まつもと子ども未来委員会の報告

10月27日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は、委員30人と大学生サポーター3人が参加しました。

1 「松本子どもの権利の日」市民フォーラムについて

当日の集合時間、流れ、リハーサルについて事務局より話をしました。また、市民フォーラムで市長と教育長が話す際に、ステージに上がって話を聞く人を決定しました。これまでは、各グループの代表者が登壇したこともありましたが、今年は委員長と副委員長の3人が登ることになりました。

2 活動テーマに関する話し合い、市への提言資料の作成

市への提言に向けて、グループごと意見やアイデアを出し合いながら、発表データの作成をしました。みんなが自信を持って発表できるように、発表の原稿も一緒に作りしました。



11月17日の市への提言に向けて、和気あいあいな雰囲気の中、各グループで発表に向けて話をしていました。

次回は発表のリハーサルとなります。実際に作成したデータをもとに、未来委員会内で発表しあいます。



(第10期) 第10回まつもと子ども未来委員会の報告

11月10日(日)にあがたの森文化会館もりぶんかいかんでまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、委員25人と大学生サポーター2人が参加しました。

1 まつもと子ども未来委員会紹介の発表について

出来上がったデータをかくにん確認し、誰がどこの部分をしゃべるのか、話し方について、グループごと確認しました。高校生が小学生、中学生に丁寧ていねいに教えている姿すがたがありました。

2 発表のリハーサル

市への提言ていげんを行う状況そうじょうを想定して、リハーサルを行いました。発表する前にステージ下で待つ、ステージの立ち位置たちいちや動き、マイクの受け渡しうけわたしの手順ていじゆんなどを確認して、全体を通してリハーサルを行いました。

初めての発表ということもあり、漢字かんじが読めなかったり、つかえてしまったりすることがあったので、それぞれで練習れんしゅうしてくるようになりました。

当日もリハーサルを行います、堂々どうどうと発表できるよう練習れんしゅうを頑張りましょう！

まつもと子ども未来委員会とは…?

- ◆「松本市子どもの権利に関する条例」に基づいて開催
- ◆委員：小学5年～高校3年生
学校、地域、年代を越えて活動しています！
- ◆松本市の取り組みや、地域の課題を学び、話し合い、松本のまちづくりを自分たちで考えています



未来委員会7か条

- 1 自分の考えを持つ
- 2 他の人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にする
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する

第4期の未来委員が自分たちで考えました！



第10期のスローガン

さらに住みやすい
松本を目指そう

あ



市への提言に向けた活動

- ◆自分たちが興味を持った事柄について、学習し、自分たちの考えをまとめる





(第10期) まつもと子ども未来委員会 市への提言の報告

11月17日(日)に勤労者福祉センターで「松本子どもの権利の日」市民フォーラムが開催され、市への提言を行いました。この日は、委員27人と大学生サポーター2人が参加しました。

1 提言の様子

4月からグループに分かれて、みんなでテーマを決めて学び、意見を出し合いながら話し合いを重ねてきました。その成果をスライドにまとめ、今回、会場に来てくださった約150人の前で発表しました。市への提言という経験が初めての子どもも多く、発表前は緊張している様子が見られました。しかし、本番ではそれぞれが堂々と発表することができ、温かい拍手をいただきました。



2 伊佐治教育長のコメント

(1) 交通

交通については、これまでも未来委員会の皆さんから何度か提言をいただけてきました。そして私が一番気になるのは、やはり通学路のことです。菅野中学校周辺の地図を示していただき、危険な箇所を教えてくださいました。

前にも提言をいただいた際にお話したと思いますが、通学路については学校教育課を中心に警察や道路管理者と連携し、年2回点検を行いながら改良を進めています。今回改めて地図を見せていただき、子どもたちも危険箇所を気にしていることが分かりました。点検の際には、ぜひ子どもたちも一部でも参加してもらえよう願いしていきたいと思います。

(2) 商業(子どもの居場所)

タカノバについてのレポートをしてくださいました。まず、タカノバを利用して自分たちの活動をしてくれたことに感謝したいと思います。とても素敵な活動をしてくれた

ことが嬉^{うれ}しかったです。

そして特^{とく}によかったのは、メディアだけでなく市民の皆さんに直接^{ちよくせつ}アンケートを取ったことです。子どもたちがこういう場所で活動し、街のことを考えている姿を、市民や観光客の皆さんが見ることで、松本は「子どもが主人^{しゅじんこう}公のまち」だと感じてもらえる良い機^よ会^{きかい}になったと思います。これからもタカノバや他の場所で未来委員会として活動^{うれ}を続けてくれると嬉^{うれ}しいです。

(3) 歴史（松本城）

歴史は松本城についてのクイズでした。私は教育長なので答えを知っていましたが、それでも改^{あらた}めて楽しく感じました。

実は昔、文化財課課長をしていたことがあります。その時まで、松本城^{てんしゆ}を天守だけだと思^{ほり}っていました。堀^{まも}や守^{ふく}りを含めて「松本城」だということを知りました。例^{たと}えば、千歳橋^{せんさいばし}を南側^{わた}から渡^{さん}り、三^{まる}の丸に入るところから松本城だということです。

今回の発表^{みかた}のように、詳しい方^{くわ}に教^{かた}えてもらおうと松本城や文化財について新しい見^み方^{かた}ができるようになります。皆さんも松本城以外の文化財についても知り、市民に伝^{つづ}える活動^{つづ}をぜひ続^{つづ}けてください。

(4) 自然（井戸と湧き水）

井戸^{ちゅうもく}について注^{まちなか}目^まし、発表^{すてき}してくれたのは初めてだったと思います。街中^{まちなか}に井戸があるのはとても素敵^{すてき}なことで、観光客におすす^{すてき}めしたいポイントでもあります。スタンプラリーや地図^{かんぱん}、看板^{ていあん}に色を付けるなどの提^{ていあん}案^{あん}は非常に良いアイデアだと思^{すてき}いました。

また、市立博物館^{はくぶつかん}で開催^{かいさい}中の「和食展^{てん}」では湧き水^わについて特^{とく}集^{しゅう}されています。松本の湧き水^わは硬水^{こうすい}と軟水^{なんすい}が混在^{こんざい}していて、源池^{げんち}の井戸^{ちゅうもく}は硬度^{こうど}が非常^{ひじょう}に高い硬水^{こうすい}だそうです。このようなことを来年度以降、さらに調^{ていあん}べて市民にPR^{おとす}してもらえればと思^{すてき}います。博物館、子どもは無料^{おとす}で入^{おとす}れますので、ぜひ訪^{おとす}れてみてください。

(5) 自習室・フリースペース

QRコードを使った居場所^{じょうかい}の地図^{じょうかい}を紹介^{しゅうかい}してくれました。この6月に予算^{しゅうかい}をつけて市内の公民館^{せんてん}8か所に子どもたちの居場所^{ふじゅうばん}を増やしましたが、宣^{せんてん}伝^{ふじゅうばん}が不十分^{ふじゅうばん}で分^{せんてん}かりにくいと感じていました。この地図^{じょうかい}は素晴^{すば}らしく、もし許^{きよ}可^かをいただけるなら、市のホームページ^{いちらん}に一覧^{いちらん}として載^のせさせてもらいたいです。

また、アンケート結果^{かつよう}を活用^{かつよう}し、使^すいやすい場所^{すば}にする取^すり組^すみも具^す体的^{すば}に進^すめていきたいと思^すいます。皆さんの発表^{すば}は本^す当^すに素晴^{すば}らしかかったです。

3 臥雲市長のコメント

伊佐治教育長から五つの発表それぞれについて詳しくコメントしてもらったので、私からは二つ大きなポイントとして話をさせてもらいたいと思います。

一つ目に、皆さんが身の回りで気づいたことを、松本市役所と協力して改善していく可能性についてお話しします。松本市役所では、たとえば道路の整備や管理は建設部が担当しています。また、バスや環境に関する課題については、アルピコ交通と連携しながら交通部が取り組んでいます。

松本市全体を見渡し、「ここを改善すべきだ」「こうしたい」という提案や対応を進めていますが、松本市はとても広い地域を持っています。中心市街地からアルプスの上高地までが松本市に含まれています。この広大な範囲を職員約2000人で管理するには限界があり、特に道路の状況をすべて確認するのは困難です。

今日、皆さんからいただいたご指摘や提言を聞きながら考えたのは、地域に住む皆さんの気づきを、できるだけ早く市役所に届けていただくことが重要だということです。松本市内には小学校や中学校が必ずあり、その周辺に住む皆さんがいらっしゃいます。そこで気づいたことを、まずは地区公民館や地域づくりセンターに伝えていただけると助かります。

地区公民館には地域づくりセンターという組織があり、その中に地域づくりセンター長が1名います。このセンター長は、私と直接話ができる立場です。地域で見つけた課題をセンター長に伝えることで、私の元へも直接情報が届く仕組みになっています。もちろん、すべての課題をすぐに解決できるわけではありませんが、このようにして、地域で気づいたことを迅速に市役所が把握し、対応することが可能になります。

例えば、地下道の状況やバス停の広さなど、皆さんから見て「これならできるのでは」と思う改善案を、ぜひ地域づくりセンター長に持ち込んでください。センター長は皆さんの話をしっかり聞き、内容を市役所に届ける役割を果たします。また、もし対応が不十分だと感じた場合は、市長や教育長に直接お伝えいただいても構いません。

地域づくりセンター長にとって、こうした活動は大きなやりがいにつながります。地域の皆さんの声を聞き、それをもとに改善が行われ、結果的に地域が喜ぶという流れができれば、市役所全体のモチベーションも向上します。このように、皆さん自身が地域の課題を発見し、センター長と協力しながら改善を進めることが大切だと思います。ぜひご協力をお願いします。

次に、自習室やフリースペースといった居場所の問題についてお話しします。子どもたちには、家庭や学校以外の第三の居場所が必要です。友達と自由に話したり、自分なりの方法で勉強したりできる場を増やすことは、私たちにとって重要な課題です。

地区公民館も、皆さんにとっての居場所として活用してほしいと考えています。これまで子どもたちが自由に利用しづらい公民館もありましたが、今後はもっと気軽に足を

運べる場にしたいと思っています。そこで、地域づくりセンター長と話をしたり、地域の人々と交流したりできるような環境を整えたいと考えています。

もちろん、子どもたち専用の場が欲しいと感じる時もあるでしょうし、大人や高齢者と一緒に活動する楽しさを感じる場面もあるでしょう。公民館がその両方を実現できる場として機能するよう、少しずつ整備を進めていきます。

さらに、中心市街地に子どもたちが集える遊び場が欲しいという声もあります。その実現には多額の費用がかかるため、民間企業と連携し、賑わいのある施設づくりを進めることも一つの手段です。行政としては、こうした環境を整え、企業が積極的に施設を作りたいと思えるような街づくりを進めていきます。

私たちが持つ施設をもっと子どもたちに使いやすいものに変えるとともに、民間企業とも連携し、居場所づくりを進めます。一緒に、より住みやすい松本市を目指して取り組んでいきましょう。ありがとうございました。

市長、教育長から上記の言葉をいただきました。



(第10期) 第11回まつもと子ども未来委員会の報告

12月15日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、委員22人と大学生サポーター1人が参加しました。

1 市への提言の振り返り

「松本子どもの権利の日」市民フォーラムで行った、市への提言の振り返りをしました。個人で自分の意見や感じたことを紙に書きだし、グループごと意見を出し合いました。全体で、良かった点、反省点を発表しました。全体としては、初めての提言だったけど、堂々と話すことができました。自信をもって発表できた。という感想が出ました。



グループ	良かった点	反省点
自習・ フリースペース	<ul style="list-style-type: none"> ・大人数の前で緊張することなく話せる力をつけることができた。 ・グループで楽しく議論し、余裕を持って提言の計画を立てることができた。スムーズに提言を進めることができた。 ・参加している人に興味を持ってもらうことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動をするのが少し遅くなってしまった。 ・フォーラムに参加する高校生が思ったより少なく、高校生の意見があまり集まらなかった。
PR	<ul style="list-style-type: none"> ・市長さんの話をちゃんと聞くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本来予定していたものとは別の内容の発表に変更したことと、資料作成を1人に任せすぎていた。
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・焦らずゆっくり話すことができた。 ・タカノバでの活動について知ってもらえた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張して上手に話せなかった。 ・言葉を噛んでしまった。棒読みになってしまった。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人に伝わり、自分の知識も広がった。直前まで打ち合わせをすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと声を出し、自分の意見を言う。 ・話をするときの緊張を減らしたい。
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを楽しんでもらえてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと人に伝わるような声で話せばよかった。
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで意見を出し合えた。 ・初の井戸の提言だったことにびっくりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの都合が合わず、ほかの人に任せっきりになる場面が多かった。

3 今後の活動について

下記2点についてグループごと話し合いました。

グループ	市長、教育長のコメントを聞いて感じたこと
自習・ フリースペー ス・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりセンターという存在を初めて知りました。 ・自分の地域のセンター長に会ってみたいと感じた。 ・アドバイスが的確で自分たちの意見がちゃんと伝わっていると感じた。 ・意見は伝わっているが、実現が難しいことも多々あることが分かった。
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目線だけでなく、市長や教育長の目線があるからこそ、分かることや役立つことがあると思いました。市がすでに取り組んでいることあるので、未来委員会と協力して進めていけば良いと感じた。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・道のことについて具体的に取り上げ、今後の方向性を明確に伝えてもらえたと感じた。
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・人の意見は、問題点を見つけ出し、解決するのに重要なことと感じた。 ・市民も、より良いまちづくりに参加したほうが良いと思った。 ・いろいろな提言をして、市長や教育長のコメントを聞いたことで、自分の見方を変えることができた。
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・松本市民として、自分がまだ松本市について知らない部分が多くあると感じた。学校行事で松本市を知る機会があれば良いと思った。肯定的なコメントによって、未来委員会の子がもっとやりがいを感じてくれるといい。テーマ「井戸」に関する提言が初めてという点が意外だった。

グループ	来年度、未来委員会でどのように活動していきたいか
自習・ フリースペー ス・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の話を聞く機会を取り入れる。 ・仲を深めるためのアイスブレイクを続行する・他市との交流を行う。 ・松本の課題をさらに見つけ出す。
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの時間を1時間半にしてほしい。 ・午前中が良いが、午前中だと部活に参加している人が来れなくなる。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの人ともっと交流したい。 ・一期で区切るのはもったいないので、次期も同じテーマを引き継ぎ、内容をさらに深めたい。 ・自分たちでイベントに参加したり・企画を立てたりしたい。
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・市内見学で、まだ行ったことのない場所を訪れ、松本に行いてさらに深く知りたい。他の城についても調べてみたい。
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・市外、県外で同じような委員会など活動を行うところと交流をして、新しい視点を得たい。 ・市長からのコメントのとおり、提言やちょっとした気づきを地域づくりセンターに届ける仕組みを自分たちで作る活動をしていきたい。 ・今年の提言、いただいたコメントを来年にも活かすようにする。



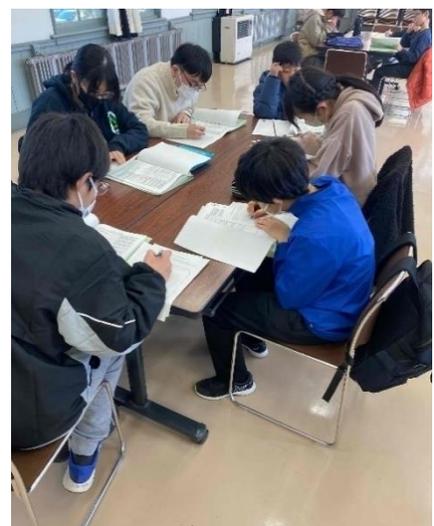
(第10期) 第12回まつもと子ども未来委員会の報告

1月19日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、委員20人が参加しました。

1 市への^{ていげん}提言に対する^{かんけい}関係課の回答について

昨年11月の市民フォーラムで行った市への提言に対する関係課からの回答を確認し、
回答に関する感想やこれからの活動について意見を出し合いました。

グループ	感想・これからの活動
井戸・湧き水	<ul style="list-style-type: none">・^{きちょう}貴重な意見と言われてよかった。・市で取り組んでいないことを出せたのはよかった。・^{けんとう}検討したいということは、今後実現できるように動いてほしい。・井戸についてできないという回答が多かった。・もっと多くの人に^{にんち}認知してもらえるような取り組みは何か考えたい。
商業 居場所	<ul style="list-style-type: none">・提言だけでなく具体的な活動をしていきたい。・松本市には^{すで}既に子どもが遊べるスペースがあるんだと感じた。
交通	<ul style="list-style-type: none">・多くの人が利用する道を工夫して通りやすくすることの^{むずか}難しさを感じた。・通学路マップをHPだけでなく、学校でも配布してほしい。
自習室・ フリースペース	<ul style="list-style-type: none">・実際に作成したマップを市のHPに^{けいさい}掲載する方向で進んでよかった。→ ^{けいさい}すでに掲載されていること、アクセス数が^の伸びていることを伝えました。
全体として	<ul style="list-style-type: none">・市役所の人達が同じ立場として質問に答えてくれてよかった。・^{ていげん}提言で今後^{けんとう}検討していきたいと書いてあったことをやっていきたい。・少し大きい子どもになると意見が出にくくなるので、小中学生がもっと意見を出しやすくなるように高校性が意見を引き出せたらいいな。



2 次期委員会委員の募集チラシについて

来年度の募集チラシの作成について、小学生高校生グループと中学生高校生グループに分かれて話し合いました。1年間の活動を振り返り、自分たちが感じたことを出し合い、どんなことをチラシに記載すると仲間が集まるのか話をしました。

チラシの作成は代表者がやった方がいいということになり、作成してくれる委員を決めました。

小学生版：滝澤 智貴 さん、
中高生版：藤岡 絢香 さん



募集チラシは、3月以降、市内の小、中、高校へ配付します。

3 修了式について

3月9日が今年度最後のまつもと子ども未来委員会となります。

今年度の修了式は、自分たちで企画して、自分たちで進行しようということになりました。

やりたいこと、必要な係を出し合い、係ごと分かれて、具体的にやりたいこと、流れについて話をしました。(司会、音響、会場、お楽しみ) いろいろなアイデアを具体的に出し合いました。

次回委員会でもっと具体的な内容にして、3月9日の修了式が自分たちのための式になるように自分たちで考えましょう。

司会	会の全体の流れを考える。修了式や挨拶の流れについて考える
BGM	場面に合った曲を選ぼう
会場	セッティング、会場レイアウト考える
お楽しみ	ビンゴやクイズ、学んだこと、みんなで楽しめることを考える

第10期まつもと子ども未来委員会も残すところあと2回
いろんな友だちと関わりながら、委員会を進めましょう



(第10期) 第13回まつもと子ども未来委員会の報告

2月16日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、委員22人と大学生サポーター1人が参加しました。

1 まちづくりに関するワークショップ
総合戦略室の丸山さんから、“理想の松本市”について、スライドを見ながら説明をしてもらいました。各グループに総合戦略室の職員が入り、名前、学年、よく出沒する場所を話して自己紹介しました。

よく出沒する場所は、みんなが今まで友だちに対して抱いていたイメージと違うこともあり、笑いが起こり、場が和みました。

その後、出された課題“理想の松本市”について、気づいたことや感じたことを付箋に書き出しました。「未来の松本市」というテーマでしたが、今の生活の中で身近に感じていることの方が書きやすかったため、学校や交通に関する意見が多く出ました。それ以外にもさまざまな意見が出てきて、周りの友だちと話しをしながら書く姿も見られました。

書いた付箋を「まちのスポット」「学校・教育」「歴史・伝統」「自然・環境」「交通」「イベント・文化」「デジタル」「その他」の8つに分類して貼りました。また、ほかのグループの人がどんなことを書いているのを見たり、共感したり、素敵だと感じた意見に「いいねシール(赤丸のシール)」を貼りました。

友だちの意見を見て、さらに盛り上がり、「本当にそうだね」とほかの人の意見を認め合う姿もありました。

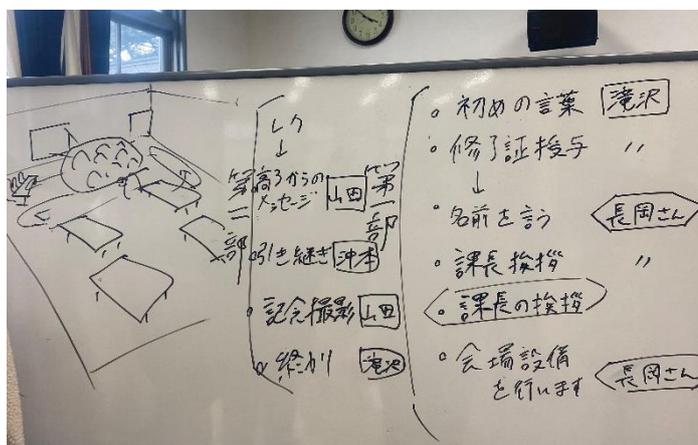
やさしく子どもたちの話を聞いてくださった総合戦略室の皆さんありがとうございました。



2 修了式・お楽しみ（3月9日）について

前回出た意見をもとに、次回の修了式の計画・準備をしました。

「司会」「会場」「音響」「お楽しみ」の4つのグループに分かれ、それぞれ前回の意見を確認し、実際にできることややりたいことについて話し合いました。また、ほかのグループと協力が必要なことについては、グループ同士で話し合い、調整しながら修了式の流れを決めました。



流れやイメージは、ホワイトボードを使って共有しました。文字や図にすることで、イメージが伝わりやすくなり、意見も整理しやすくなりました。その結果、出てきた意見がまとまりました。

高校生は小中学生の意見を聞きながら場をまとめてくれ、「こうしたらどうかな?」「こんな感じはどう?」と積極的に提案する姿も多く見られました。幅広い年齢層が協力して活動していることで、伝え合うつながりを見ることができました。



自分たちで企画した修了式。

みんなで楽しみましょう!!



(第10期) 第14回まつもと子ども未来委員会の報告

3月9日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、委員30人と大学生サポーター2人が参加しました。

1 修了式

第10期の修了式は、自分たちで企画し、^{きかく}進行を決めました。自分たちのための会を、自分たちで考え、^{うんえい}運営しました。いつもより早く集合し、打ち合わせを重ね、高校生と中学生が中心となって準備を進めました。第10期の活動を振り返るスライドを見ながら、BGM係が準備した音楽が流れる中、最後の確認を行いました。その結果、未来委員会らしい式になりました。

松本市こども育成課長から第10期まつもと子ども未来委員会修了証^{しゅうりょうしょう}が授与^{じゅよ}されました。

その後、こども育成課長から「一年間、未来委員会の活動お疲れさまでした。皆さんがまちづくりに興味を持ち、学んでくれたことをうれしく思います」というお話がありました。



2 お楽しみ

レク係を中心に、みんなで「知域王~松本版~」のカードゲームを楽しみました。ゲームを紹介してくれた委員が、PowerPointを使ってルールを説明した後、7つのグループに分かれて遊びました。より楽しめるよう、同じくらいの年齢ごとに分かれ、小学生・中学生・高校生のグループで^{たいせん}対戦しました。

松本版ということもあり、ゲームには身近な松本城や城下町に関するイベント、歴史、建物、食べ物が登場しました。高得点を狙うには松本城のカードを集めたほうがよいとのことで、多くの子どもたちが松本城を集めようとしていました。(カードの左上には、文字やマークが付いています。)

小学生はカードを集めることに夢中になり、高校生は^{せんりやく}戦略を



立てて対戦する姿が見られました。どの年齢でも楽しめるカードゲームでした。

1回目のゲームが終わったグループは、2回目のゲームをしたり、カードの写真やイラストを見て「これ、おいしそう!」と話したり、自分の気になるカードについて同じグループの友だちと会話を楽しんでいました。

カードを貸してくださった松本青年会議所様、ありがとうございました。今回のゲームを通じて、松本の魅力を改めて知ることができました。

3 高校3年生より一言

第14回未来委員会に高校3年生が8人参加してくれ、1人ずつ話をしてもらいました。活動期間は1年から8年と差がありましたが、それぞれの活動を振り返り、感想を話してくれました。



「高校生になると大人と接することが多くなる中で、小中学生と触れ合うことができてよかった。小中学生と話すことで刺激をもらった。」

「緊張せず、はきはきと話せるようになった。」

「活動を始めた頃と比べると、自分が天と地ほど違うと感じる。」

このような感想を話してくれました。



一年間
お疲れさまでした

令和6年11月17日



まつもと子ども未来委員会 市への提言

第10期まつもと子ども未来委員会



まつもと子ども未来委員会とは…？



- ◆ 「松本市子どもの権利に関する条例」に基づいて開催
- ◆ 委員：小学5年～高校3年生
学校、地域、年代を越えて活動しています！
- ◆ 松本市の取り組みや、地域の課題を学び、話し合い、松本のまちづくりを自分たちで考えています



未来委員会のマークについて

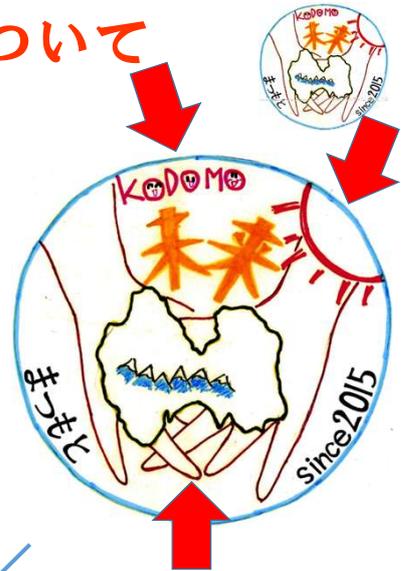
マークに込めた思い

笑顔でいっぱいになりたい

⇒KODOMOの“O”が笑顔になっている

松本と松本の自然を大切にしたい

⇒手の中に松本、山と太陽



未来委員会7か条

- 1 自分の考えを持つ
- 2 他の人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にす
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する

第4期の未来委員が
自分たちで考えました!



第10期の未来委員会



◆ 活動期間

令和6年4月～令和7年3月

◆ 委員

45人

(小学生11人、中学生17人、高校生17人)

→ 継続18人、新規27人

◆ 大学生サポーター

3人 (信州大学3人)

第10期のスローガン



さらに住みやすい
松本を目指そう





活動内容について



委員会の様子



市内見学の 様子

市への提言に関する場所・施設
を見学しています

市への提言



市への提言に向けた活動



自分たちが興味を持った事柄について、
学習し、自分たちの考えをまとめる

商業

自然

交通

歴史

自習室
フリース
ペース



交通グループ

阿部康介 大沢朱夏 沖本悠真 黒崎遥
須澤千咲 水林祐人 横川詩 若林凜

テーマに興味を持った理由



交通に不便さを感じたから

歩行者や車両の信号無視が多くて危険だから

通学路の地下道が怖くて危ないと感じているから

通学で使うバスの車内が混みすぎているから

さらに住みやすい
市にしたい



松本市の課題



地下道が暗くて怖い

バス乗り場で待つ人が多すぎて
歩道を通行しにくい

道が狭く、通るのが危ない



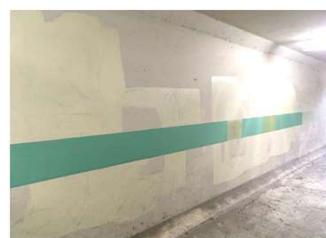
松本市の課題(地下道)



地下道の壁に、スプレーなどで落書きをされている

暗かったり汚かったりして雰囲気が怖い

通学路でよく使われるのに安全性が保たれていない



市への提言(地下道)



松本などに関するクイズを壁に書く

幼稚園児や保育園児、地域の小学生が壁に絵を描く

明るい感じを出して映えスポットにする



松本市の課題(バス)



バスの待機列が利用者の進行を阻んでいる

バスの並ぶ列が1列しかない

点字ブロックや歩行者通路の上に人がいる

利便性の向上

市への提言(バス)



バス乗り場に柵を設置し、歩行者とバス利用者を区分

バス利用者が並ぶ場所に足跡型のペイントを施し列を整備する
ペイントの色を変えることで、バス路線も区別する

バリアフリーバスの運行、ヘルプマーク等の設置場所の検討
バリアフリーの推進、優先席の利用時の負担減



松本市の課題(狭い道)



通学路で歩行者が通るところがなくて
車が通るところしかない

狭い道でスピードを出しすぎる車が多かったり、
自転車を避けるところがなかったりする

狭い道での
安全な
交通を実現



市への提言(狭い道)



	改善のポイント	手段	イメージ
車	・スピードを出しすぎない	<ul style="list-style-type: none"> ・錯覚を使ったペイントをする ・歩行者のところに足跡を付ける ・凸凹を設置する ・速度感知センサーの設置 ・くねくね道を作る 	<p>クランク スローム</p>
歩行者	・危険な場所を知っておく	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所マップを事前に作成する (例: 菅野安心マップ) ・実際に危険箇所を確認しながら歩いてみる 	<p>← 菅野小中学校近くの危険箇所マップ</p>



市への提言(狭い道)

	改善のポイント	手段	イメージ
道路	<ul style="list-style-type: none"> 歩道を広くする 	<ul style="list-style-type: none"> 側溝に蓋をして歩道を広くする 自転車専用道路のペイントを塗る 柵を設置する 電柱を移設する 	<p>通車用光線のまがけによる歩道整備 (群馬県宇都宮市)</p> <p>○対策前 ○対策後</p> <p>・歩道が設置されていないため、危険な状況</p> <p>・農業用水路に蓋を敷設して歩道を設置</p> <p>歩行者が車道にのみ出す箇所へガードパイプを設置 (石川県)</p> <p>○対策前 ○対策後</p> <p>・歩道が狭く、児童が車道にのみ出し危険な状況</p> <p>・通勤時間帯は交通量が多い</p> <p>・歩車道境界側にガードパイプを設置し、児童の安全を確保</p>

商業グループの提案



子どもの居場所について

あつ
～集まりたい松本の町～



柏原 榎 横山加奈 岩垂修也
 大澤悠 小谷優真 手塚航
 西原大雄 野澤伊織 堀大希



現状

三の丸エリアビジョン

暮らす人の生活に寄り添う



① タカノバ

信州大学のボランティア
↓
地元の幼児向けイベント
開催



現状

② フリースペース 拡大



③ 高校生駄菓子屋



しかし

公園以外で
外で遊べる場所が
少ない



遊び場の

- ・ 認知不足
- ・ 遊び場不足



さらに
商業施設の閉店

こども未来委員

タカノバで練り飴屋





遊ぶ場所：少ない、増やしてほしい
過ごし方：ゲーム、宿題（家）、塾
感想：また遊びたい
みんなで遊べる場所が欲しい

こども



大人



室内がいい（夏場は暑くて心配）
勉強ができると嬉しい

提言



①高校生大学生ボランティア：
こども向けに屋台や駄菓子屋さん
子供達が遊ぶ場所を形成できるボランティアシステムを市で提案

②夏場に涼しく安全で快適に遊べるスペースの
有効活用を市民と共に行って欲しい





歴史グループ

荒井結人 塩尻恵子 篠田光利 篠田優羽
鈴木咲良 鈴木咲歩 若林優佳 藤岡絢香



Matsumoto
Castle



松本城に興味を持った理由

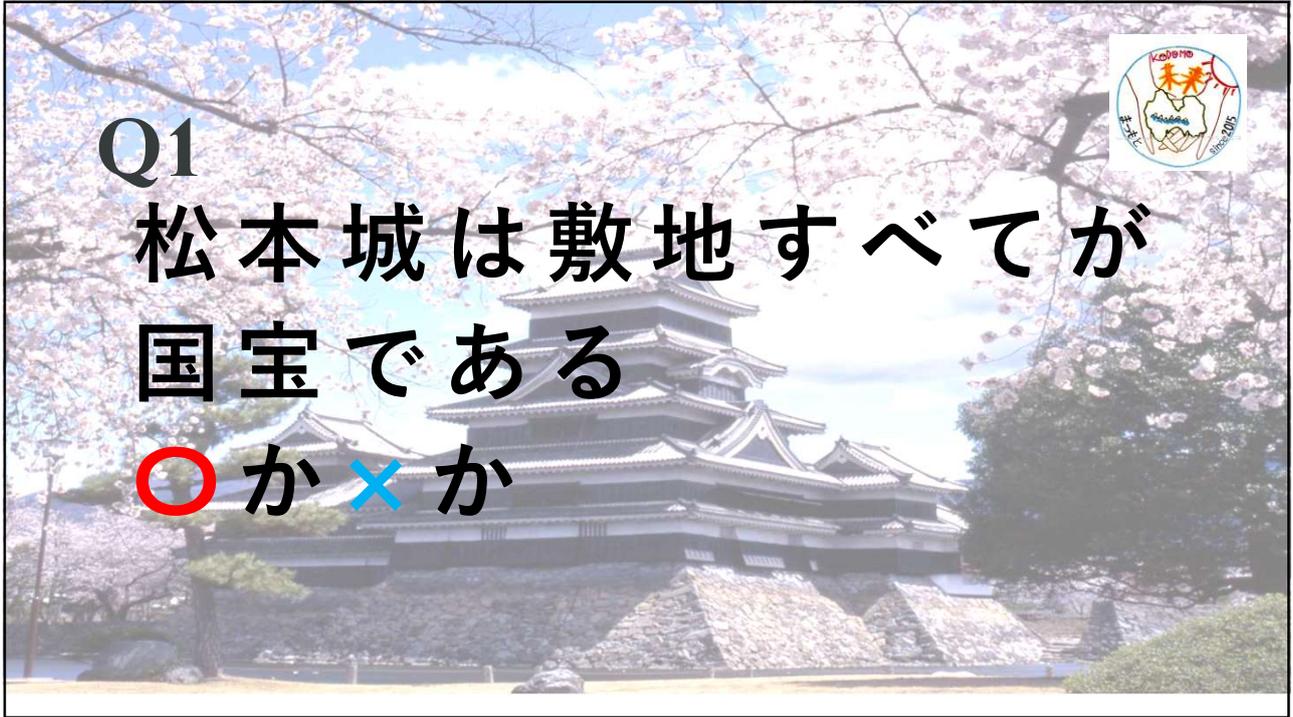
松本城は松本のシンボル

↳松本城のことを

あまり知らない人がたくさんいる

改めて松本城の魅力を知ってもらうために
歴史について調べてみたいと思いました。

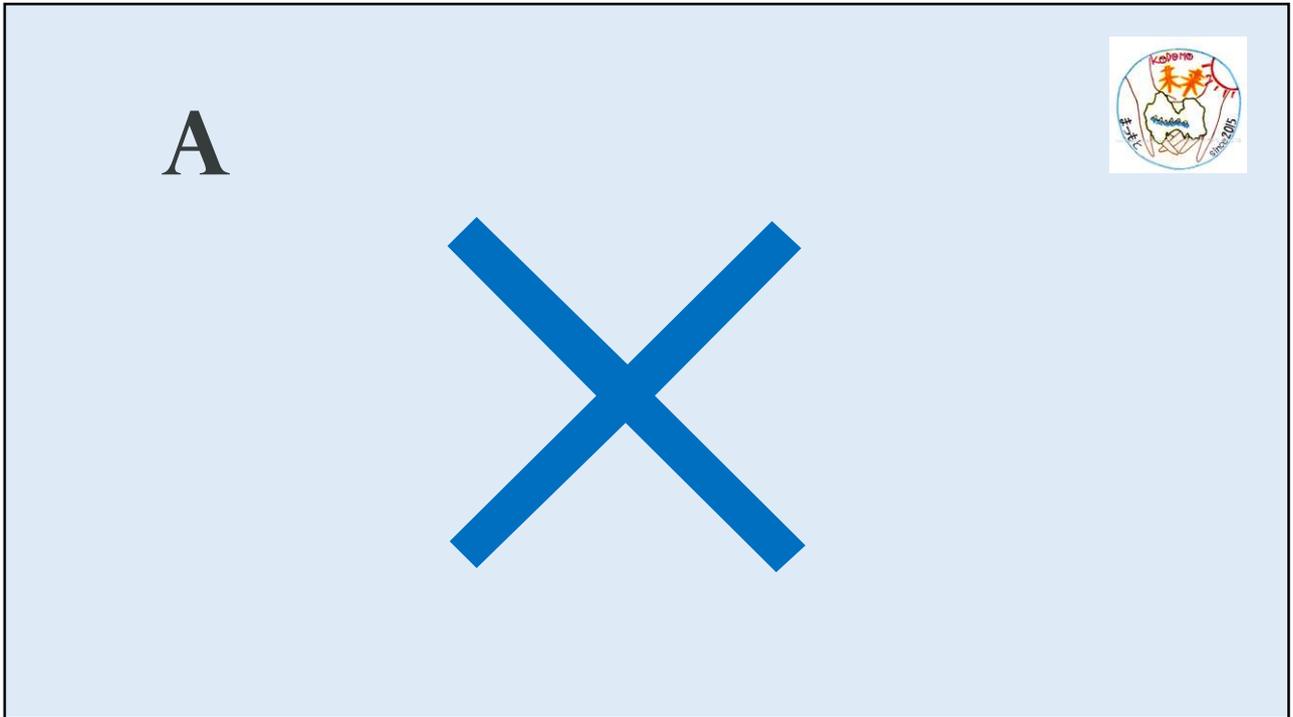




Q1

松本城は敷地すべてが
国宝である

○か×か



A

Q2

松本城は城の外見の色から
○○の城と呼ばれている
それは次のうちどれ

1 白銀の城

2 漆黒の城

3 黒鷹の城

4 白鷺の城



A

2 漆黒の城



Q3

松本城の天守で一番新しく建てられたのは次のうちどれ



- 1 月見櫓
- 2 渡櫓
- 3 乾小天守



A



1 月見櫓

まとめ・感想



自分たちで調べるだけでなく、研究専門員
さんに話を聞くことが出来てよかった。

もっと松本城の歴史・魅力を知ってみたい
と思った。

写真提供：松本城管理課

謝辞：松本城の研究専門員
小山淳一さん



自然グループ 湧き水を知ってもらうために



伊藤綾音 入山咲慧 今井帆夏
高山正太 西山碧 藤岡香月



テーマに興味を持った理由



そこに美しい自然があったから

松本で一番身近にある自然は何か
➡ いろんなところにある
➡ 湧き水(井戸)を活かせるのでは

しかし、井戸を使っている人は少ない



松本市の現状



- ・湧き水や井戸巡りは
普通の商業施設の観光やイベントに比べると
あまりインパクトがないかもしれない
- ・井戸水を生活用水として
使っているのは年配の方が多い



松本市の現状

井戸の安全性

月1回の設備点検と年2回の水質検査



松本市内での取り組み

- ・松本市のホームページに
井戸の情報と扱いの要項が掲載
- ・「まつもと水巡り」というパンフレットが市内に設置
- ・湧き水を使った料理を提供するお店がある
- ・新まつもと物語で
まつもと水巡りの紹介



松本市の課題

- ・井戸が細道の奥や目立たないところにあり、
わかりにくい
- ・井戸の存在があまり知られておらず、
使っている人も少ない



井戸を使っている人も
年配の方が多く、
若い人はふれあう機会がない



市への提言

井戸巡りスタンプラリーの開催

- ・「まつもと水巡り」のパンフレットを使って、
松本市内の井戸を巡ってスタンプラリー
- ・湧き水を使う料理店やカフェとも協力し、
途中で立ち寄れるようにする

➡ 観光客に井戸と湧き水の存在と活用を知ってもらう



市への提言

水飲み場の設置

- ・熱中症対策として、
湧き水を利用した水飲み場を設置

立て看板の設置

- ・井戸の場所の案内として看板を設置
- ・パンフレットの井戸の番号と色に
合わせた立て看板を作り
訪れた人にわかりやすくする





自習室・フリースペース について

山田明文 平形藤子 田中洸介 和田裕也

調べようと思ったきっかけ



いつも自習室を利用して
更に自習室を利用しやすくしたいと思ったから



自習室・フリースペースの地図



自習室・フリースペースがどこにあるかわかりづらいので
地図を作りました



自習室・フリースペースの地図





～自習室・フリースペースをもっと使いやすくするために～

アンケートのご協力をお願いします



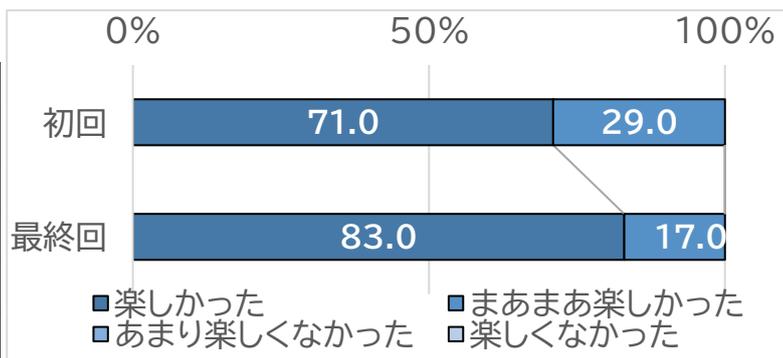
ご清聴ありがとうございました！



未来委員アンケート

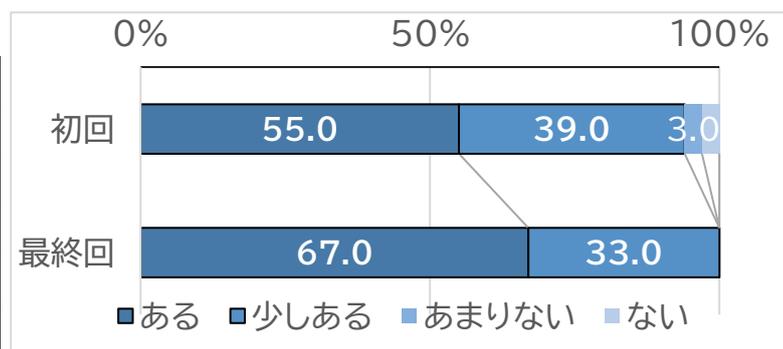
委員会の感想

	初回(%)	最終回(%)
楽しかった	71.0	83.0
まあまあ楽しかった	29.0	17.0
あまり楽しくなかった	0.0	0.0
楽しくなかった	0.0	0.0
合計	100.0	100.0



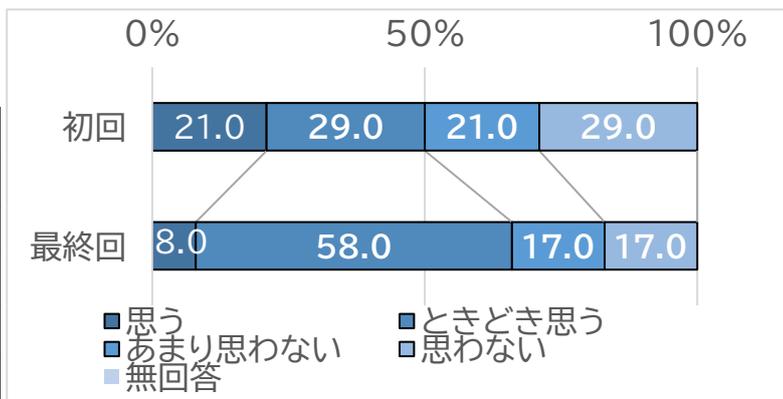
松本への興味・関心

	初回(%)	最終回(%)
ある	55.0	67.0
少しある	39.0	33.0
あまりない	3.0	0.0
ない	3.0	0.0
合計	100.0	100.0



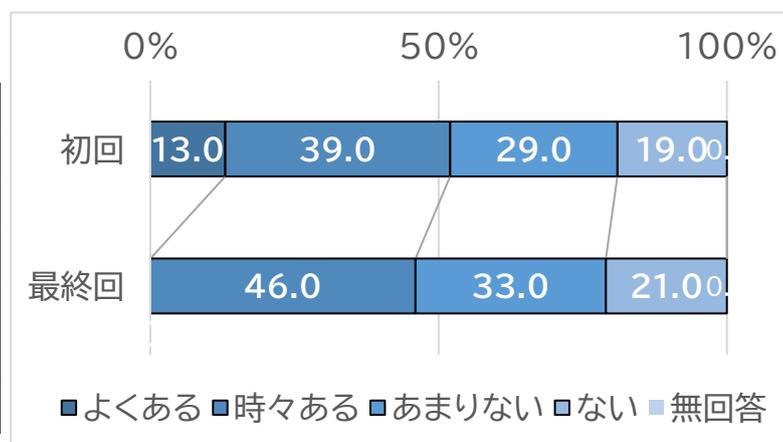
人前で意見を言うことを恥ずかしいと思うか

	初回(%)	最終回(%)
思う	21.0	8.0
ときどき思う	29.0	58.0
あまり思わない	21.0	17.0
思わない	29.0	17.0
合計	100.0	100.0



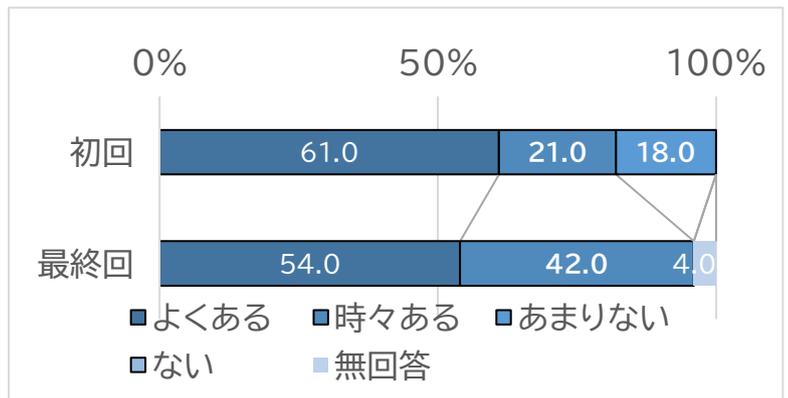
自分の言いたいことを言えないことがあるか

	初回(%)	最終回(%)
よくある	13.0	0.0
時々ある	39.0	46.0
あまりない	29.0	33.0
ない	19.0	21.0
無回答	0.0	0.0
合計	100.0	100.0



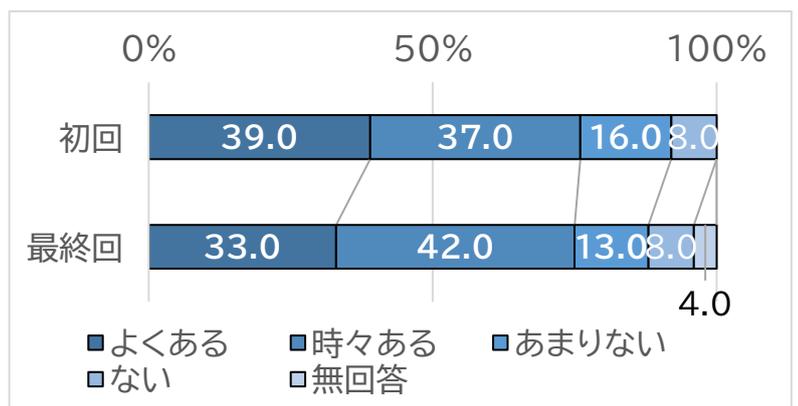
家庭で自分の意見を言うことがあるか

	初回(%)	最終回(%)
よくある	61.0	54.0
時々ある	21.0	42.0
あまりない	18.0	0.0
ない	0.0	0.0
無回答	0.0	4.0
合計	100.0	100.0



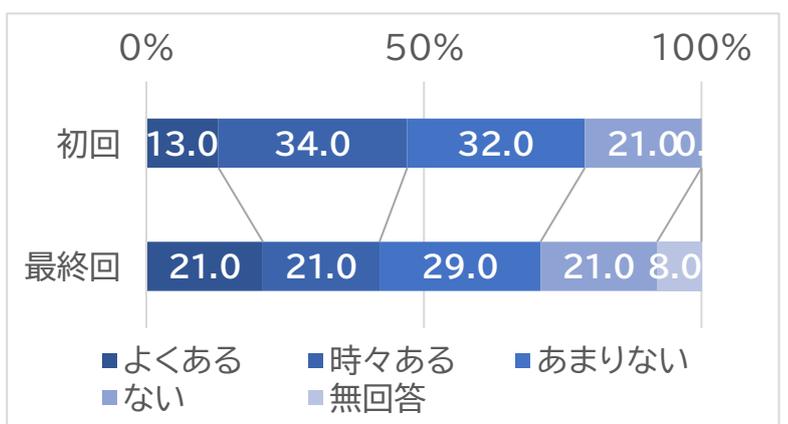
学校で自分の意見を言うことがあるか

	初回(%)	最終回(%)
よくある	39.0	33.0
時々ある	37.0	42.0
あまりない	16.0	13.0
ない	8.0	8.0
無回答	0.0	4.0
合計	100.0	100.0



地区で自分の意見を言うことがあるか

	初回(%)	最終回(%)
よくある	13.0	21.0
時々ある	34.0	21.0
あまりない	32.0	29.0
ない	21.0	21.0
無回答	0.0	8.0
合計	100.0	100.0



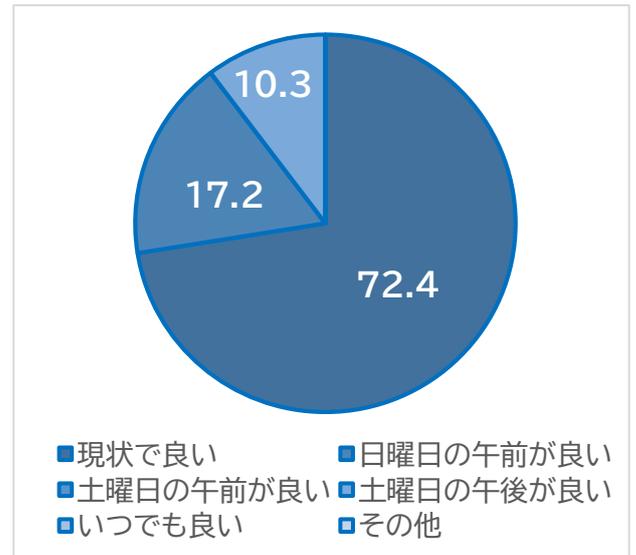
要望・感想

- ・ 普段関わることのない他校の人と松本市について意見を交わすことができ楽しかった。
- ・ 話し合いをすることで多くのかんがえに触れることができよかった。
- ・ 市内見学でいろいろ体験できたからよかったなと思いました。
- ・ 短期集中、メリハリをもって話し合いをする。意識があればもっと良くなる（ただ深刻にならず、真剣に楽しくやれば）
- ・ 8年間様々な経験をさせていただき本当にありがとうございました。
- ・ 色んな年代の人と会話をして松本のことについて話すのがとても楽しかった。
- ・ 市長を見れたことがうれしかった。
- ・ 話し合いを通して、松本のこともほかの参考にすべき年の活動も両方知ることができた。松本城にかかることをたくさん調べることも楽しかった。とても学びになった。学校での話し合いにも参考にしたい。

保護者アンケート

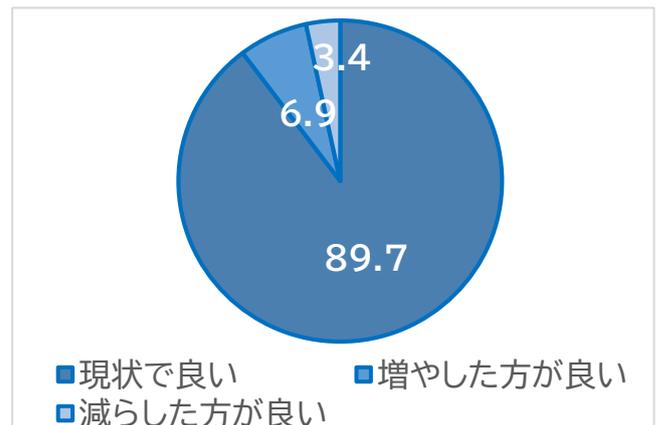
日程について

	人数	割合(%)
現状で良い	21	72.4
日曜日の午前が良い	5	17.2
土曜日の午前が良い	0	0
土曜日の午後が良い	3	10.3
いつでも良い	0	0
その他	0	0
合 計	29	100



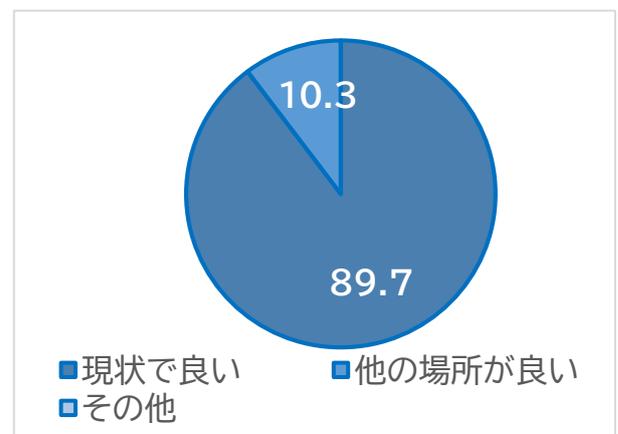
回数について

	人数	割合(%)
現状で良い	26	89.7
増やした方が良い	2	6.9
減らした方が良い	1	3.4
合 計	29	100



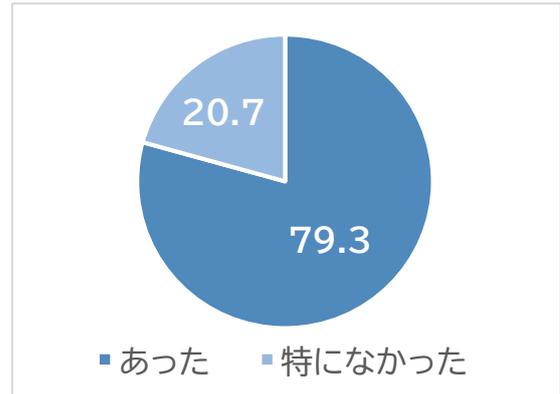
開催場所について

	人数	割合(%)
現状で良い	26	89.7
他の場所が良い	3	10.3
その他	0	0
合 計	29	100



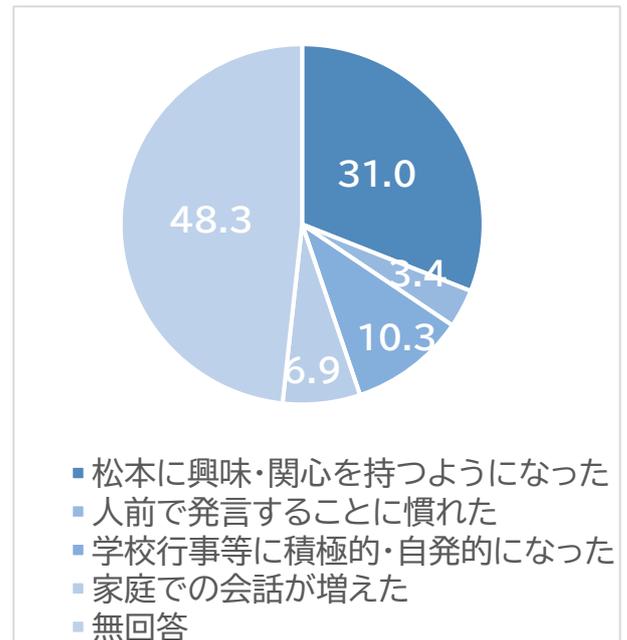
子どもに変化があったか

	人数	割合(%)
あった	23	79.3
特になかった	6	20.7
合計	29	100



変化の内容(複数回答)

	人数	割合(%)
松本に興味・関心を持つようになった	9	31.0
人前で発言することに慣れた	1	3.4
学校行事等に積極的・自発的になった	3	10.3
家庭での会話が増えた	2	6.9
無回答	14	48.3
合計	29	100.0





まつもと子ども未来委員会のマークに子どもたちが込めた思い

- ① 松本を大切にしたい（手の中に松本市）
- ② 笑顔でいっぱいになりたい
- ③ 松本の自然（山・太陽）を描きました